

# ICCAE

 news  
No.15 2009. 4. 1

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成21年4月1日発行 第9巻 第2号(年2回発行;通巻15号)

発行/名古屋大学 農学国際教育協力研究センター  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

<http://icca.eagr.nagoya-u.ac.jp/index.html>

e-mail:icca.eagr@agr.nagoya-u.ac.jp

## 第9回オープンフォーラム 「大学等有する知的資源の組織的活用による国際教育・研究協力の推進と強化—農学知的支援ネットワークの形成に向けて—」を開催

農学国際教育協力研究センター (ICCAE) は、10月30日(木)、31日(金)の両日、第9回オープンフォーラムを名古屋大学大学院環境学研究科レクチャーホールで開催しました。

同フォーラムでは、「大学等有する知的資源の組織的活用による国際教育・研究協力の推進と強化—農学知的支援ネットワークの形成に向けて—」をテーマとして、我が国の農学分野の大学や研究機関の連携強化によって、各機関がこれまで蓄積してきた知と経験を国際協力活動へ組織的かつ継続的に提供するための枠組み作りについて議論を行いました。

冒頭、山内章ICCAEセンター長、宮田隆司名古屋大学理事・副総長による挨拶の後、岩永勝農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所長が「国際農業の抱える問題と日本の役割：農学知的支援ネットワークへの期待」と題する基調講演を行いました。その後、セッション1では、浅沼修一ICCAE教授が「農学知的支援ネットワーク設立の背景・趣旨・展望」を講演し、浅井孝司文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長、戸田隆夫国際協力機構JICA研究所上席研究員および安中正実国際農林水産業研究センター企画調整部長/J-FARD事務局がそれぞれ

れの立場から農学知的支援ネットワークに対する期待について発表しました。引き続き行われたセッション2では、松本哲男ICCAE教授による「大学と国際協力機関との組織連携強化」、田和正裕名古屋大学大学院環境学研究科特任教授による「農学知的支援ネットワークの運営に必要な制度・枠組みの検討」、板垣啓四郎東京農業大学国際食料情報学部教授による「ネットワークを活用するための事務局の機能と活動に対する意見」の講演があり、ネットワークの制度設計と活動内容に関する討議が行われました。

2日目のセッション3では、「ネットワークの活用が想定される事例」をサブテーマとして、横原大悟ICCAE准教授による大学等研究機関の国際教育協力活動実施状況に関するアンケート結果の報告と石川智士東海大学海洋学部准教授による水産分野のネットワーク構築に関する発表が行われました。セッション4では、櫻井武司ICCAE客員教授、田中樹京都大学大学院地球環境学堂准教授、緒方一夫九州大学熱帯農学研究センター長、大濱裕日本福祉大学社会福祉学部准教授が、それぞれの視点に基づいた農学知的支援ネットワークの戦略的活用について講演を行いました。

最後に行われた「農学知的支援ネットワーク推進のためのアクションプラン」に関するパネルディスカッションでは、多様化する途上国のニーズに誠実かつ確実に応えることができる国際教育協力を実現するため、大学等有する知と経験を個々の大学の枠を超えたネットワークによって組織的かつ継続的に提供するための具体的な枠組み作りについて、活発な意見交換が行われました。

ICCAEは、同フォーラムでの協議内容を踏まえ、農学知的支援ネットワーク事務局として、具体的な組織・制度設計や共同提案プロジェクトの形成等の活動を開始する予定です。(横原大悟)



オープンフォーラム参加者